

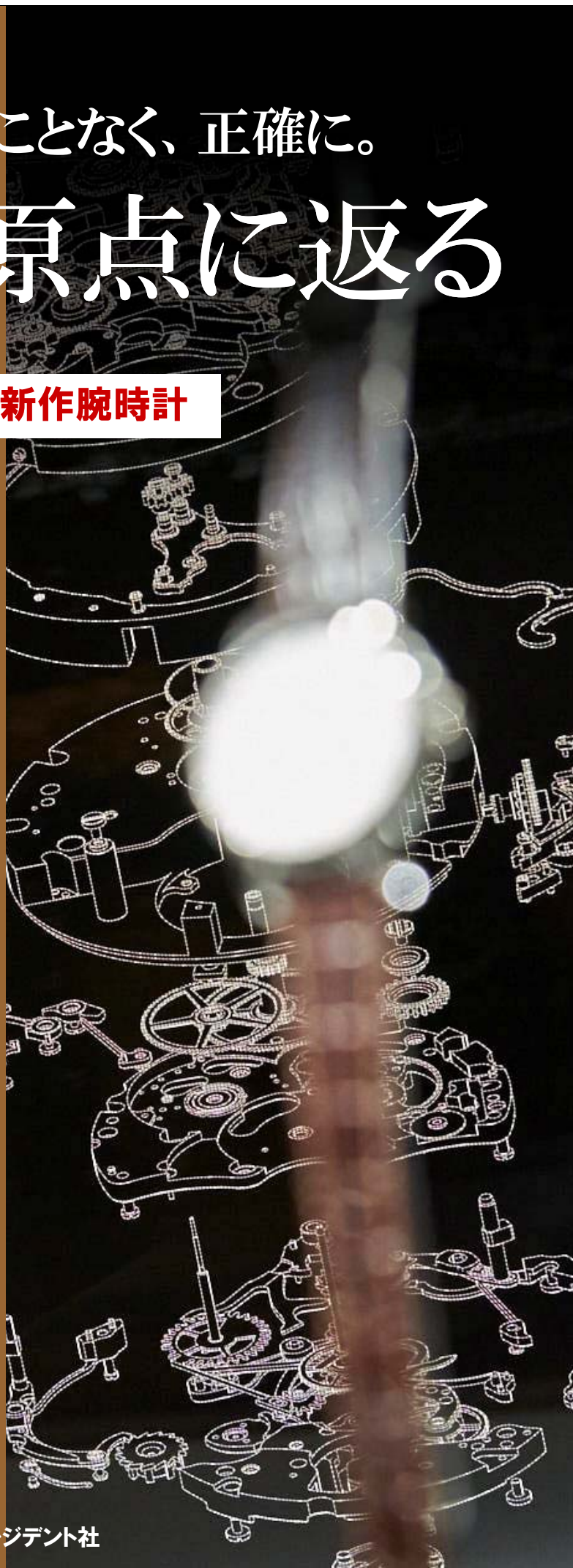
見やすく、止まることなく、正確に。 腕時計の原点に戻る

2017年 新作腕時計

今 年もまた高級時計の季節がやってきました。本特集は、「プレジデント」読者の時計への関心がピークに達するこの時期に、バーゼル&ジュネーブで開催される時計展の現地取材をもとに大ボリュームでお届けする新作腕時計レポートです。

この数年で、高級時計を取り巻く環境は大きく変わりました。一昔前、腕時計は世界的な人気を受けて、機構・デザイン・素材など、あらゆる面で新しさを競うような開発が進みましたが、その人気が一段落した昨今、各ブランドは自社のルーツに立ち返り、オリジナリティーを打ち出すような時計づくりへとシフトしてきました。原点に立ち返るということは、言い換えれば「腕時計になにを求めるのか」を見つめ直すこと。各ブランドが考える“腕時計の理想像”が、この数年で見え始めてきました。

そうした流れを受けて、今年「プレジデント」誌が注目するのは、“腕時計本来の役割”についてです。デザインや素材などの新しさも注目に値するものですが、いわゆる時計ブームが去った今、とりわけ目を引くのは、「時刻を知らせる」という時計本来の役割に立ち返った開発です。1秒の精度、10時間のパワーリザーブ、あるいは視認性やメンテナンス面といった基本性能の改良は一見地味なものですが、確実に腕時計の進化へとつながり、そしてイノベーションを予感させる有意義な開発です。そうした目線で新作を取り上げることは、目の肥えたプレジデント読者のブランド選び・時計選びに有用な情報になると考えます。



企画のポイント

見やすく、止まることなく、正確に。

腕時計の原点に戻る

2017年 新作腕時計

Point 1

“時計本来の役割”に立ち返った 開発に注目します

複雑機構や新素材などの開発が成熟しつつある今、
“時刻を知らせる”という時計本来の役割に立ち返った開発が輝いて見えます。
精度、持続時間、視認性、メンテナンス性といった
基本性能の向上を果たした新作、
将来のイノベーションにつながるような開発に着目します。

Point 2

各ブランドが“腕時計に求めるもの”を 紐解きます

ブランド各社が自社のルーツに立ち戻った開発を進めたことで、
そのブランドが“腕時計になにを求めるか”が一段と鮮明に見えてきました。
今年の注目作や肝煎りの新作を通して、
そのブランドが目指すプランや時計づくりのDNAを
プレジデント読者に訴求します。

編集内容（予定）

■精度、持続時間、視認性、メンテナンス性…

基本性能、最新レポート

腕時計とは本来“時刻を知らせるためのツール”であるため、その本質的な進化とは“いかに正確に、止まることなく、見やすく”時刻を知らせるか、という点です。また、長年使用できる機械式時計であればメンテナンス性もマストであり、腕に着けるツールである以上は着用感も見過ごせません。本時計特集のメイン企画では、そうした腕時計の基本性能の面で進化を遂げた新作を取り上げ、その開発から見えるブランドの時計づくりに迫ります。

>>予定テーマ

「精度」向上こそ腕時計の本質的進化

使用してわかる「パワーリザーブ」の重要性

時刻表示だけじゃない、「視認性」の現在

長く使うからこそ「メンテナンス性」がマスト

腕時計だから気になる「着用感」

GPS、Bluetooth…「ハイテク」時代の性能革新 ……など

■“原点回帰”の今、あらためて知る

「ブランド別」ルーツとDNA

世界的な時計ブームが終焉を迎え、各ブランドが自社のオリジンを見つめ直した開発を進める昨今、一段と鮮明に見えてくるのはブランドのルーツであり、ルーツに基づいた時計づくりのDNAです。時計業界が新局面に突入した今このタイミングで、各ブランドの注目作や肝煎りの新作から、そのブランドが腕時計に求めるもの、時計づくりで最優先するものを紐解き、ブランドの真の時計づくりを伝えます。

■[PRESIDENT meets President.] 日本のブランドトップに聞く

「日本市場」と「戦略的腕時計」

今、時計業界の誰もが気になることが日本経済の行方でしょう。高級消費財である腕時計を扱うブランドのトップは、日本市場の現在や将来をどう見ているのか、また、その分析を踏まえて“今年の戦略的腕時計”と位置づける新作は何か。日本市場から高級時計業界に迫ります。

■ユーザーとブランドをつなぐ時計専門店だからわかること

「アフターサービス重視で選ぶなら」

機械式時計は、メンテナンスさえ怠らなければ長年使用できるもの、とはよく聞く話。では、実際にブランドのアフターサービス体制はどうなっているのか。ユーザーとブランドの架け橋となる時計専門店で、アフターサービスが充実したブランドとその内容を聞きます。

■今年の新作から注目時計を厳選

機能別／テーマ別新作カタログ

バーゼルやジュネーブ等で発表された新作を、機能やテーマごとに紹介します。

広告料金・申込締切

■4色見開きタイアップ
265万円 【定価 440万円】

■4色1Pタイアップ+4色1P純広告
230万円 【定価 410万円】

■4色1Pタイアップ
150万円 【定価 220万円】

※ 純広告の料金についてはお問い合わせください。

※ 遠方取材、著名人出演など、その他の経費がかかる場合別途ご請求申し上げます。
※ 料金は、すべて税別、タイアップ制作費込みです。

■純広告お申込締切日
2017年5月8日(月)

■タイアップお申込締切
2017年4月24日(月)

■今後の予定
9/25売り……ファッション特集
10/23売り……時計特集
11/27売り……ギフト特集